



< 校 訓 >
賢く 正しく 遅く

中央中通信

第11号

中央中学校 学校だより
令和7年1月9日(木)
文責 校長 森田 淳

新年あけまして おめでとうございます

冬休みの生活はいかがだったでしょうか。



さて、生徒の皆さんは何か**今年の目標**を立てましたか。1年後に自分がなっていた姿をイメージしてスタートしてほしいです。

昨年末に、職員も最後の会議で3学期からの取組をどうするかについて考えました。3学期は次学年のスタートの準備をする大切な時期です。中央中生がさらに成長し、一人一人のよさに磨きがかかるよう効果的な学習活動を展開していこうと様々な取組を構想中です。本年も保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

中学校最重要行事

卒業証書授与式に向けて



3学期は義務教育9か年の修了を祝う卒業式に向けた取組が始まります。3年生は**残り41日間**に中学校での学びをまとめ、いよいよ**町外に出てそれぞれの進路**に向けて本校を飛び立ちます。その3年生を祝う大切な儀式です。それと同時に、2年生にとっては次の卒業生になって学校を引っ張り、**自分の進路を決定するステージ**に上がるために2年生気分を卒業する機会です。同様に、1年生にとっては「**先輩**」という立場になって、実質的に諸行事の原動力になり、学習も充実させていくステージに上がるために1年生気分を卒業する機会です。

したがって、卒業式は全学年の生徒にとって大切な節目で、各学年の学びが修了したことを立派な姿で保護者や地域の皆さんにお示しする中学校教育活動の集大成とも言えます。ぜひ3年生はもちろん全校生徒の成長が感じられる気持ちのこもった卒業証書授与式にしたいと思います。

失敗を恐れなくてよい環境に みんなの力で支持的風土を!!

駅伝の時のすがすがしい光景でした。順位は最後の方のアンカーを何人も生徒と一緒に応援しながら走って、誰が選手か分からない状態でゴールするという…



一方で、子供たちの中から駅伝の選手決めをするときに、気になる発言があったと聞きました。「あとで何て言われるっか分からんけん、駅伝選手はやりたくない!!」

本当にあとで文句を言われる雰囲気なのか、それともやりたくないゆえの言い逃れなのか…

また、レクリエーションのバレーボール大会の時に、相手側からサーブのボールが飛んでくると一斉に味方側の選手がボールの落下点付近から逃げて行き、ボールが何度も床に落ちるという…



見ていて感じたことは、「失敗して格好の悪いところを見せたくない気持ち」と「誰かが自分の失敗に対して悪口を言うかもしれないという恐れ」を何となく持っていそうだということです。もしかすると思春期特有の現象かも知れません。しかし、駅伝持久走大会ではほとんどの生徒が手を抜かずに頑張っていましたし、バレーボールも後ではだんだん盛り上がりました。

ただ、小学校1年生からずっとあまり変わらないメンバーで育ってきて、もっとうまい具合にいかんものかなあ、と思ったことでした。

現在、学校教育活動全体を通して取り組んでいることの核になる部分が、このような状態を少しでも**支持的な風土に変えていく取組**です。

みんなが失敗を恐れず伸び伸びとチャレンジできる雰囲気を構築することこそが子供の能力を伸ばす基盤になると考えています。